


学会成果報告書

学会名	第 37 回腎移植・血管外科研究会		
大会長所属	藤田医科大学医学部 腎泌尿器外科		
大会長氏名	白木 良一		
テーマ	“原点回帰 - Better kidney, Better life - ”		
開催日	2022 年 6 月 16 日～17 日	参加人数	266 名
場所	ホテル花水木コンベンションホール		

2022 年 6 月 16 日（木）、17 日（金）の 2 日間、ホテル花水木コンベンションホールにて第 37 回 腎移植・血管外科研究会を開催させて頂きました。本学会のメインテーマを“原点回帰- Better kidney, Better life - ”とし、腎移植だけでなく腎機能維持に関わる様々な課題を全ての参加者の皆様と、互いの経験や考え方を共有、検討し、より良い医療へのきっかけとなるよう企画致しました。昨今、医療技術や薬剤療法など様々な進歩により、腎臓移植の主要アウトカムは生存率から生着率、そして腎機能、QOL へと変化し、維持透析療法に対する生命予後の改善も認識されつつあります。その間、CKD に関する CVD（心血管イベント）を含めた生命予後に対する理解も進み、腎機能維持の重要性は内科的合併症の制御や腎癌に対するロボット支援手術による腎部分切除術など、様々な革新的なアプローチが導入されてきました。今回の研究会では 5 つのシンポジウム、2 つの教育プログラム、海外招請講演、特別講演、会長講演の 10 のプログラムから構成されており、腎移植、腎癌を中心に、手術支援ロボットによる新術式についてのシンポジウムには多くの会員が参加し討論が行われました。

また、本研究会の起源は、腎移植に関わるすべての医療者が本音をもとにディスカッションした事が「原点」であり、これに「回帰」することを目指し、本来の開催意義からも状況が許される限り face-to-face で熱い議論を行うことを目的としておりました。やはり新型コロナウイルス感染症、特に変異種の影響が大きく、予定しておりました参加人数には至りませんでした。有意義な時間を共有することができたと考えております。

具体的には腎移植患者の一生としてレピシエント側からドナー側の両面からのアプローチに関するシンポジウムを中心に特別講演では東京女子医科大学泌尿器科教授田邊一成先生に“腎移植関連外科手技の最近の話題”として腎移植に関わる手術手技についてお話いただき、また海外招請講演として Dr. Mohanakumar (Norton Thoracic Institute, St. Joseph’s Hospital and Medical Center) より Emerging Role for Exosomes in Immune Responses Following Transplantation and Viral Infections including SARS-CoV-2 として移植患者における COVID-19 感染の免疫学的影響について Web での講演をいただきました。また教育プログラムとして移植後妊娠についてのガイドライン作成委員会委員長藤田医科大学移植・再生医学講座剣持敬先生に腎移植後妊娠・出産についてご講演いただき、臨床腎移植学会からは認定プログラムとして認められ、またもう一つの教育プログラム“臓器保存”では泌尿器科医のみならず移植に携わる移植外科医から臓器保存に関わる様々な視点からご講演をいただきました。COVID-19 流行下で感染対策を万全に行った上での現地参加型研究会としてひとりの感染者も出さずことなく学会を終えることができ、まさしく直接会って議論を交わす原点回帰の研究会となりましたことを報告いたします。